

取扱説明書 設置編

工事説明付き

保証書別添付



ネットワークカメラ 業務用

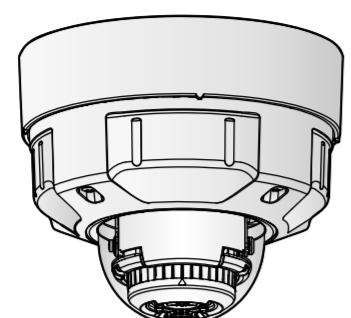
WV-S2572LNJ 屋外監視用

品番 WV-S2552LNJ 屋外監視用

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編（本書）：本機の使用上の注意、設置上の注意、設置方法について記載しています。
- 取扱説明書 基本編（下記ウェブサイト内）：本機の使用上の注意、詳細仕様について記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編（下記ウェブサイト内）：本機の操作や設定方法について記載しています。

https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html取扱説明書に記載されている「<管理番号：Cxxxx>」は、以下の弊社サポートウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© i-PRO Co., Ltd. 2022

* PGQX243ZYA* Cs1020-1042
Printed in China

保証とアフターサービス よくお読みください

使いた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () - お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

- 製品名 ネットワークカメラ
- 品番 WV-S2572LNJ、WV-S2552LNJ
- 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

アフターサービスについて、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410 受付：9時～17時30分
*携帯電話からもご利用になれます。ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知していただけます。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

注意：

- カメラに接続される直流電源は同じ建屋内になければなりません。
- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- 本機に電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 本機にはDC12 Vのクラス電源(UL 1310/CSA 223)か、または供給電力が制限される有限電源(IEC/EN/UL/CSA 60950-1またはIEC/EN/UL/CSA 62368-1 Annex Q)を使用してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

注記：

- 本機は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 一般の方が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじやそのほかの部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

■ 直流電源記号

安全上の注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

禁止	してはいけない内容です。
注意	実行しなければならない内容です。

警告



- 異物を入れない
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります)
⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- 可燃性ガスの露囲気中で使用しない
(爆発によるけがの原因となります)
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
(取扱部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります)
- 落とさない、強い衝撃を与えない
(けがや火災の原因となります)
- SDXC / SDHC / SD×モリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない
(誤って飲み込むおそれがあります)
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- ぶら下がらない、足場代わりにしない
(けがや事故の原因となります)
- 電源ケーブルを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります)
⇒修理の際は販売店にご相談ください。
- 風が強い場所に設置しない
(風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります)
- 高圧洗浄機等で本機の防水性能を超える水をかけない
(浸水による火災や感電の原因となります)



- 分解しない、改造しない
(火災や感電の原因となります)
⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。



- 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない(工事時を含む)
(感電の原因となります)



- 工事は販売店に依頼する
(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります)
⇒必ず販売店に依頼してください。



- 异常があるときは、すぐ使用をやめる
(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります)
⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。



- 総質量に耐える場所に取り付け
(落とすや転倒によるけがや事故の原因となります)
⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。



- 定期的に点検する
(金具やねじが緩んでる、落下によるけがや事故の原因となります)
⇒点検は、販売店に依頼してください。



- 専用の取付金具を使用する
(落とすによるけがや事故の原因となります)
⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。



- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける
(落とすによるけがや事故の原因となります)



- 配線は電源を切ってから行う
(感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります)



- 人がぶつからない高さに取り付け
(けがの原因となります)



- 振動のないところに設置する
(取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります)



- 配線は正しく行う
(ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります)



- 設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかりと取り付ける
(けがや事故の原因となります)

注意



- 金属のエッジで手をこすらない
(強くこするときのけがの原因となります)



- 本体底面の金属部には触れない
(金属部が高温になる場合があります。直接触るとやけどの原因となります)



- お手入れのときは電源を切る
(けがの原因となります)

記号について

本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

S2572 : WV-S2572LNJ (4Kモデル) で使用可能な機能

S2552 : WV-S2552LNJ (5Mピクセルモデル) で使用可能な機能

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL), GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本機の設定メニューの「サポート」ページの「本製品で使用している OSS」については、「こちらを参照ください。」をクリックして、表示される内容をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピ、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- SDXC/SDHCはSD-3C、LLCの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle ChromeはGoogle LLCの商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

設置上のお願い

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、弊社は責任を負いません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機の設置 接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

■ 傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

■ 本機の取付場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。

- 強度が十分ある天井(コンクリート天井など)に取り付けてください。
- 耐風速性
- 風速40 m/s 以下

寸法

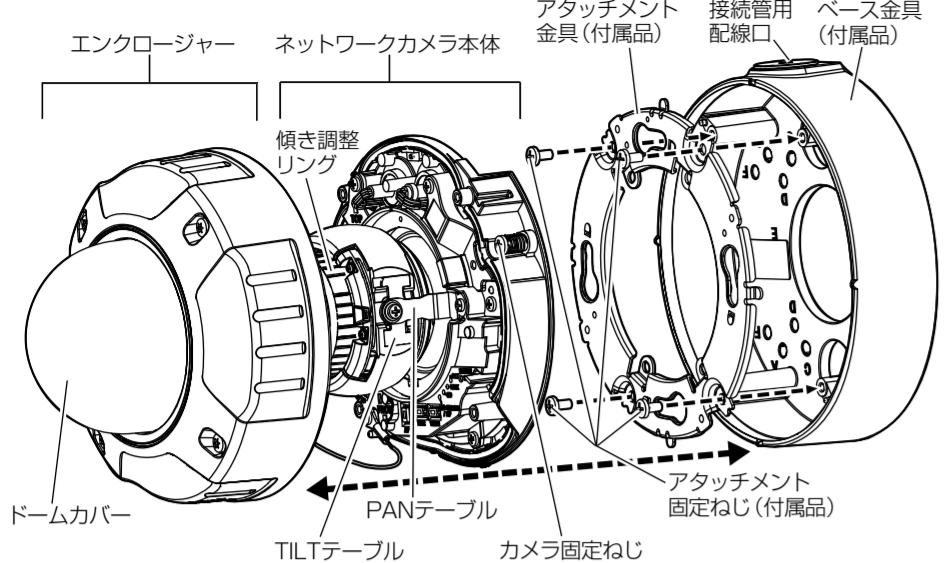
ベース金具使用時
最大径：φ164 mm/高さ：139 mm/ドーム径：42 mmアッターチメント金具のみで設置時
最大径：φ154 mm/高さ：103 mm/ドーム径：42 mm

質量

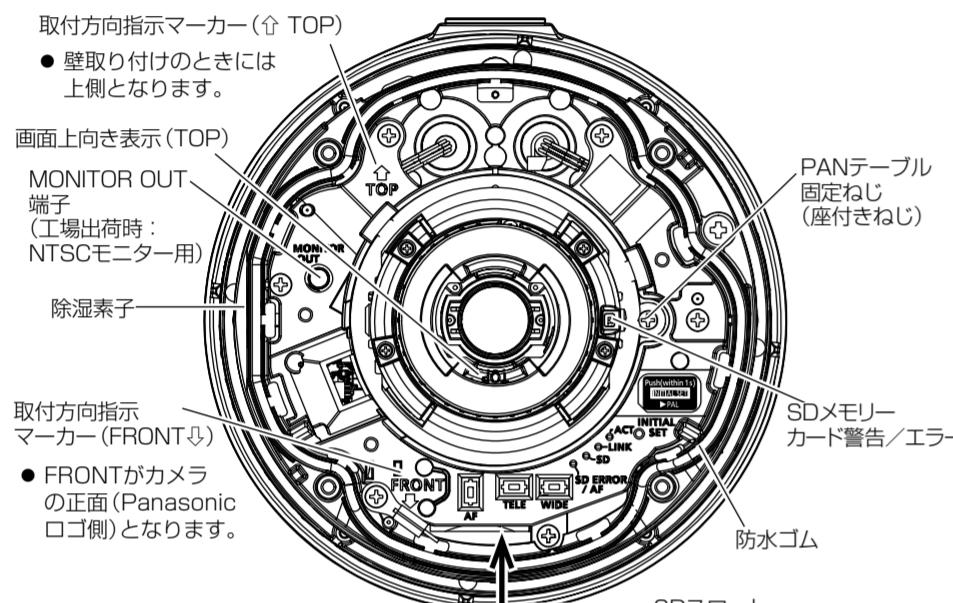
ベース金具使用時
約1.6 kg

各部の名前

【全体】



【カメラ本体】



Step1 設置面を加工する(取付タイプに合わせて加工する)

共通

- アタッチメント金具を取り付けるときは、部品番号の刻印が設置する天井や壁側に向くようにしてください。
- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。

重要

- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、防水処理をしてください。

SWボックス

- 最低引抜強度：196 N | 20 kgf | 1本あたり
[1] 設置面にSWボックスを取り付ける。
[2] SWボックスにアタッチメント金具を取り付ける。

直付け

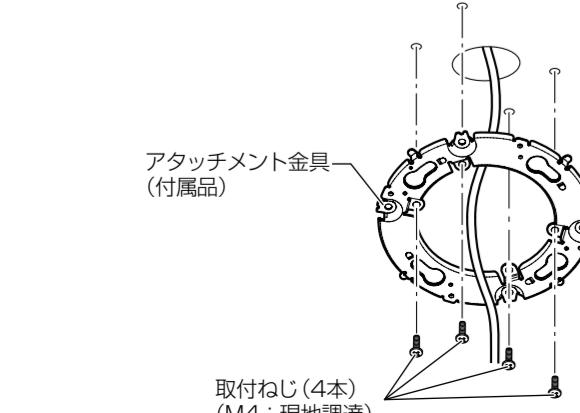
最低引抜強度：196 N | 20 kgf | 1本あたり

- [1] 型紙A(附属品)を使って設置面に穴を開ける。(ねじ穴 4か所／ケーブル通し穴 1か所)

メモ

- 壁面に取り付ける場合、型紙の「↑TOP」マークが上に向くようにして穴を開けてください。
- 天井に取り付ける場合、型紙の「↓FRONT」マークが正面(Panasonicロゴの方向)に向くようにして穴を開けてください。
- 設置後にカメラの向きを変更する場合は中心にΦ73 mmの穴を開けます。90°単位でカメラ取り付けの方向を変更できます。

[2] 設置面にアタッチメント金具を取り付ける



■ランプ

メモ

- ランプの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯することができます(初期状態は点灯および点滅)。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

LINKランプ

接続機器と通信可能になったとき 橙点灯

ACTランプ

カメラがデータ送受信時 緑点滅(アクセス中)

SD(MOUNT)ランプ

SDメモリーカードを挿入して認識できたとき 消灯→緑点滅→消灯

SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し(1秒以下)、保存可能な状態になったとき 緑点灯

SDメモリーカードに保存できる状態のとき 緑点灯

SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒間)してSDメモリーカードを取り出すとき (録画中) 緑点灯→緑点滅→消灯 (録画待機中) 緑点灯→消灯

SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき 消灯

SD ERROR/AFランプ

AF(オートフォーカス)実行中 赤点滅(1回/秒)

カメラが起動中 赤点灯

正常にSDメモリーカードが認識されたとき 赤点灯→消灯

起動後SDスロット未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出されたとき 赤点灯→赤点灯のまま

SDメモリーカード警告/エラーランプ(初期状態は消灯)

警告状態を検出したとき 赤点灯

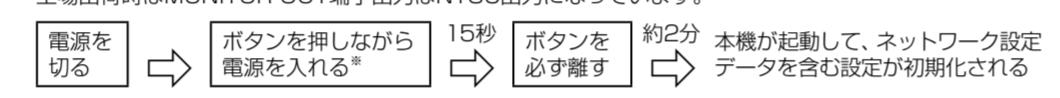
(警告検出条件:稼働時間 6年経過、上書き回数 2,000回超)

エラー状態を検出した場合(エラー検出条件:ライトエラー、リードエラーなど) 赤点滅

■ボタン

● INITIAL SETボタン(初期化ボタン / NTSC ⇄ PAL切替ボタン)

本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。ボタンを短く押す(1秒以下)と、MONITOR OUT端子の出力を切り換えることができます(NTSC ⇄ PAL)。工場出荷時はMONITOR OUT端子出力はNTSC出力になっています。

 電源を切る → ボタンを押しながら電源を入れる* → 15秒 → ボタンを必ず離す → 約2分 本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化される

*初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

● SD ON/OFFボタン

- ボタンを押す(1秒以下)とSD(MOUNT)ランプが緑点灯し、SDメモリーカードへのデータ保存が可能になります。
- ボタンを長押し(約2秒間)するとSD(MOUNT)ランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

● AFボタン

ボタンを押すと、自動でフォーカスを調整します。

● TELEボタン

ボタンを押すと、ズーム(倍率)を「望遠」方向に調整します。

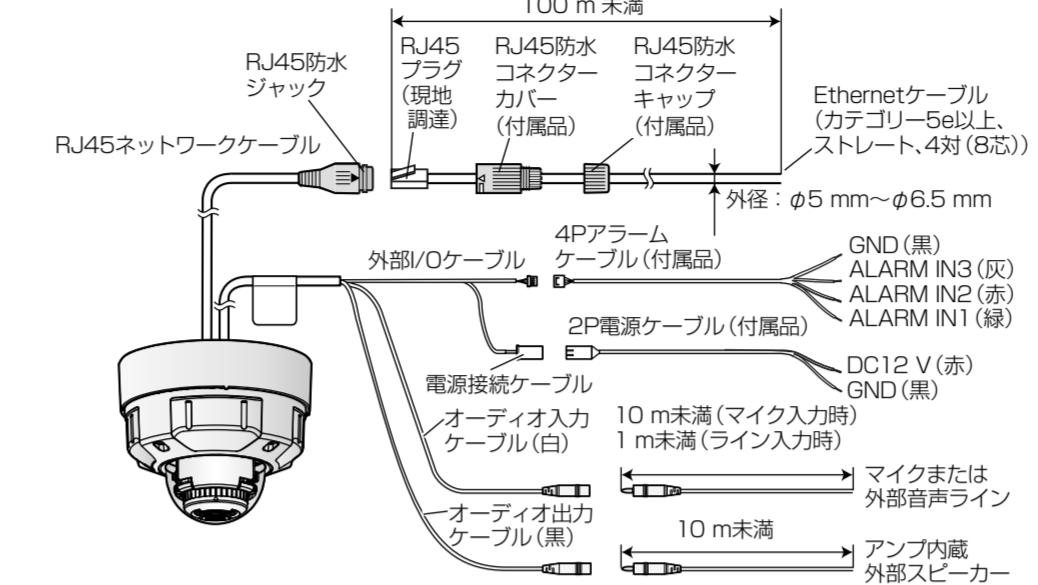
● WIDEボタン

ボタンを押すと、ズーム(倍率)を「広角」方向に調整します。

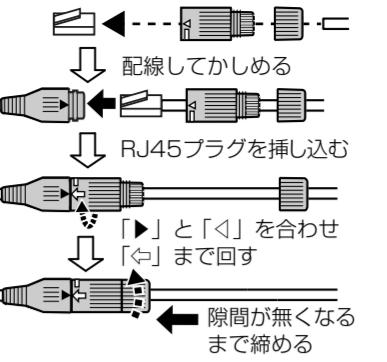
Step2 ケーブルを接続する

重要

- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブ/PoE給電装置またはDC12 V外部電源です。
- ケーブル類を接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。

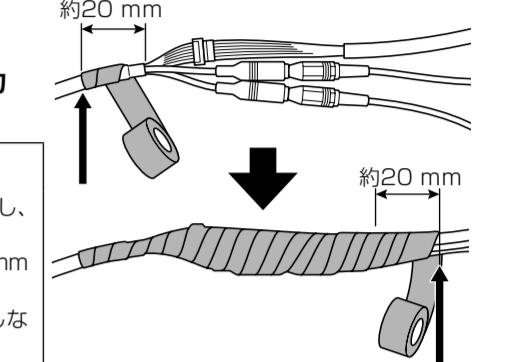


■ RJ45防水コネクターの接続方法



重要

- RJ45防水コネクターを外す場合は、必ず組み立てと逆の手順で外してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の双方を接続した場合は、DC12 Vが優先されます。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。



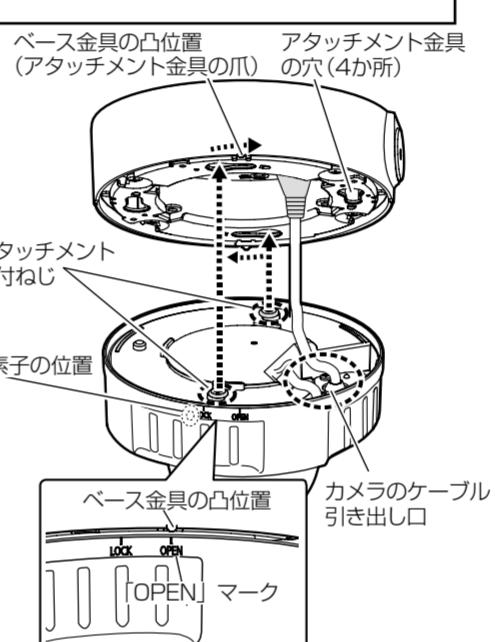
■ Step3 カメラを固定する

[1] OPENマークをベース金具の凸位置に合わせて、アタッチメント取付ねじ(2か所)をアタッチメント金具の穴へ差し込み、約15回転させ仮固定する。

- アタッチメント金具を直付けする場合はOPENマークをアタッチメント金具の爪に合わせます。

重要

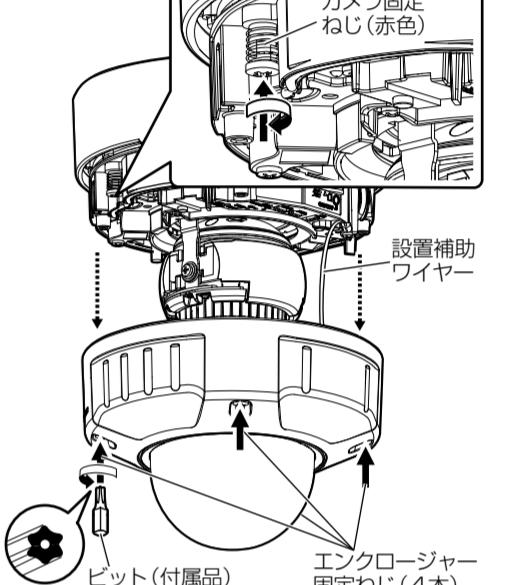
- 壁に取り付けるときは、カメラのケーブル引き出し口が上向きになるようにカメラを取り付けてください。
- 壁に取り付けるときは、除湿素子が横向きまたは下向きになるようにしてください。除湿素子を上向きに取り付けると、表面に水がたまり除湿素子が機能しません。



[2] ビット(付属品)を使ってエンクロージャー固定ねじ(4本)を緩め、エンクロージャーを本機より取り外す。

重要

- エンクロージャーは設置補助ワイヤーでカメラ本体に接続されています。設置補助ワイヤーを外さないでください。



[3] カメラ固定ねじ(赤色)を締め、カメラをしっかりと固定する。

推奨締付トルク: 0.78 N·m | 8 kgf·cm

[4] カメラ本体のMONITOR OUT端子にMONITOR OUT変換プラグ(付属品)を接続し、調整用モニターをピンケーブル(現地調達)で接続する。

[5] 必要な場合は「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」を参照してSDメモリーカードを挿入する。

Step4 調整する

[1] カメラの電源を入れ、レンズ部に貼ってある保護フィルムをはがす。

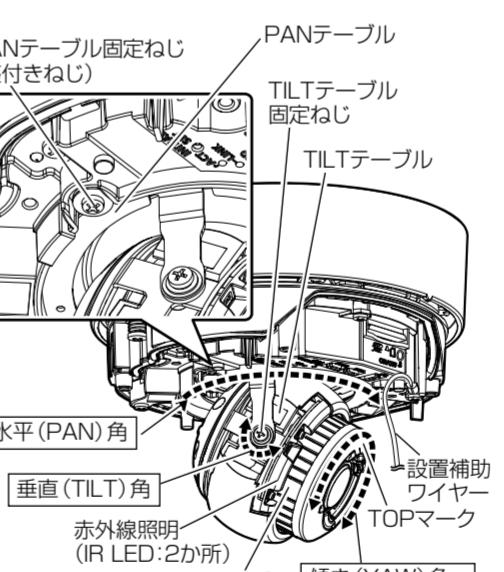
[2] カメラの向きを調整する。

- PANテーブル固定ねじ、TILTテーブル固定ねじのプラスねじ側(1か所)を緩める。
- 調整用モニターを見ながら、カメラの角を調整する。
水平(PAN)角: ±180°
垂直(TILT)角: -30° ~ +85°
傾き(YAW)角: ±100°

メモ

- 壁設置の場合、水平(PAN)角を左に180°回転してから調整してください。
- 垂直角をカメラレンズの水平に近い位置にした場合、画像の一部が二重に見えたり、カメラ本体の一部が画面に映ったり、夜間撮影時に赤外線の反射が画面上に映ることがあります。このような場合は、垂直角を小さくしたりズーム倍率を調整したりしてください。

- TILTテーブル固定ねじのプラスねじ側(1か所)とPANテーブル固定ねじを締め、カメラユニットを固定する。
推奨締付トルク: 0.59 N·m | 6 kgf·cm

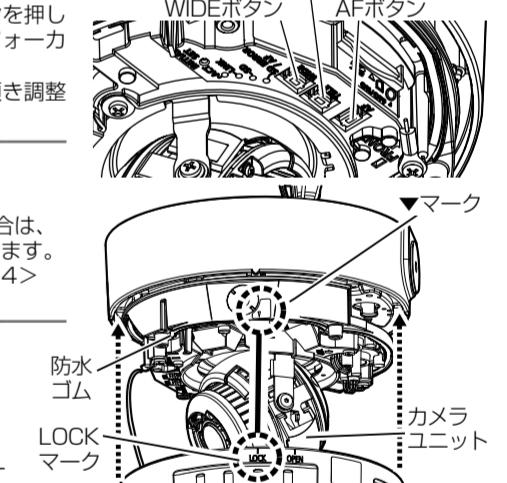


[3] ズームとフォーカスを調整する。

- 画面を見ながらWIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の画角(視野角)に調整し、AF(オートフォーカス)ボタンを押してフォーカスを合わせます。
- 必要な場合はPANテーブル、TILTテーブル、傾きリングでカメラアングルを再調整します。

メモ

- 解像度をS2572(1280×720)、S2552(640×360)以上に設定している場合は、ズームの倍率によって画質が劣化することがあります。詳細はサポートウェブサイト<管理番号: C0124>を参照してください。



[4] MONITOR OUT変換プラグ(付属品)を外し、エンクロージャーを取り付け、ビット(付属品)を使ってエンクロージャー固定ねじ(4本)を締めて固定する。

エンクロージャーのLOCKマークを、本体の▼マークに合わせて取り付けてください。
推奨締付トルク: 0.59 N·m | 6 kgf·cm

重要

- 防水ゴムが、溝から外れていないことを確認してください。

[5] 設置完了後、ドームカバー表面の保護フィルムを取り外す。親水コートラベル(付属品)をカメラの外郭などに貼り付ける。

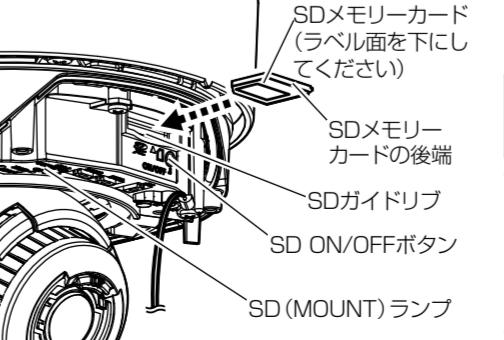
[6] サポートウェブサイト<管理番号: C0123>にある説明に従って、IP簡単設定ソフтверウェアをダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

[7] 「取扱説明書 操作・設定編」を参照し、セットアップメニューからオートフォーカス機能を実行する。

SDメモリーカードの取り付け・取り外し

■ SDメモリーカードを取り付ける

- カメラよりエンクロージャーを取り外す。
- SDメモリーカードをSDスロットの奥まで入るように押込み、カチッと音がするまで確認する。
- SDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端のSDガイドリップの高い部分よりも飛び出していることを確認する。
- SD ON/OFFボタンを押し、SD(MOUNT)ランプが点灯していることを確認する(SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に自動的にSD(MOUNT)ランプが点灯します)。
- エンクロージャーをもとの位置に取り付ける。



■ SDメモリーカードを取り外す

取り外す場合は、取り付けと逆の手順で取り外してください。
SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD(MOUNT)ランプが点滅から消灯に変わったことを確認してからSDメモリーカードを取り出してください。

メモ

- 本機の電源を切る前に必ずSD(MOUNT)ランプが消灯していることを確認してください。

メモ

- SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。設定、フォーマットのしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- 最新の動作確認済みSDメモリーカード情報などは、サポートウェブサイト<管理番号: C0107>を参照してください。

